

こども家庭庁委託事業
地域の人材による子育て支援活動強化研修

地域子育て支援拠点研修 東京開催

子育て家庭を地域で支えあう仕組みの基盤強化のため、地域子育て支援拠点事業や利用者支援事業に携わる従事者、行政担当者対象の研修です。最新の行政説明、講義、事例報告、パネルディスカッションなどから実践的に学ぶ機会とします。

2026年1月25日(日)

10:00～16:00 (受付9:30～)



●会場

東京ウィメンズプラザ ホール
(東京都渋谷区神宮前5-53-67)

●アクセス

東京メトロ表参道駅徒歩7分

●定員

100名 (事前申込・先着順・定員になり次第締切)

●対象

- 地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業の従事者
または従事予定の方
- 行政の事業担当者
- 地域において、子育て支援に従事している方

●後援(予定)

東京都・(社福)全国社会福祉協議会

●協力

NPO法人せたがや子育てネット

参加無料

お申込みは
専用WEBページから



<https://kosodatehiroba.com/seminar-info/tokyo>

<主催・問い合わせ先>

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会

〒222-0037 横浜市港北区大倉山1-12-18-303

TEL:045-531-2888/045-546-9970(平日9:00～17:00)

FAX:045-512-4971

Email:seminar@kosodatehiroba.com



9:30～ 受付開始

10:00～10:10 開会挨拶

プログラム

10:10～11:00 プログラム1 行政説明

地域の子育て支援に関する施策の現状

令和5年4月からこども家庭庁が創設され、新たな施策も注目されています。地域子育て支援拠点事業・利用者支援事業の概要、および子ども・家庭支援をめぐる最新情報についてご説明いただきます。

説明

こども家庭庁 成育局 成育環境課

コーディネーター

奥山千鶴子

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長

11:00～12:00 プログラム2 基調講演

拠点から実践するこどもの権利保障

～「赤ちゃんの声」をどう聴くか？

こども基本法がスタート、今年度は子ども・子育て支援事業計画(第3期)もスタートしました。言葉では表現されにくい「赤ちゃんの声」をどう聴くか、たくさんの地域子育て支援拠点でも日々実践されてきています。こどもの権利、とりわけ乳幼児期の課題について、今の日本と各国の状況を武田信子さんにご紹介いただきながら、拠点の実践に活かしましょう。



講師 武田信子さん

一般社団法人ジェイス 代表理事

一般社団法人ジェイス代表理事。カナダや北欧を中心に、世界各国で多種多様な子どもの養育・教育環境を視察し、2020年、28年務めた大学を58歳で早期退職して、2021年、子どもの養育環境を保障する活動を行う法人を立ち上げる。2025年には日本の乳児の発達に関する広範囲アンケート調査を実施しており、2026年初めのこの講演ではその結果を踏まえて乳児発達の最新状況をお伝えしつつ、大人たちが今、「赤ちゃんの声」を聴き、何をすべきか検討したい。

お昼休み

13:00～15:55 プログラム3 パネルディスカッション

地域子育て支援拠点で聴こえた「声」を

どう実践に活かすか

ウェルビーイングな社会や生活をつくっていくためには、まずこどもの一番小さな「声」が聴けることが大切です。保護者や地域の力を借りて行う、こどもの育つ環境づくりについて話し合しましょう。

パネリスト

大崎幸恵さん NPO法人子育てネットくまがや 代表理事

佐藤貴子さん (社福)雲柱社 江東区東陽子ども家庭支援センター センター長

コメンテーター

武田信子さん 一般社団法人ジェイス 代表理事

コーディネーター

松田妙子さん NPO法人せたがや子育てネット 代表理事

15:55～16:00 終了挨拶